

事業名	住宅環境整備事業
-----	----------

総事業費	2,280 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な居住環境の整備
	基本事業名	住環境の整備

② 実施 (Do)

事業の意図	住環境の向上及び市内業者の振興を図るため、住宅の耐震診断・耐震改修工事、リフォーム工事を促進する。	
事業の実績 と 成果	取組内容	広報を行い、補助事業を実施した。
	成 果	住宅リフォーム工事に対する補助件数は25件だった。年間を通して多数の問合せがあった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	リフォームに地元材を活用することで地元材の利用促進につながるとの意見があることから検討する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	居住環境の向上が図られると共に事業効果も見られる。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	地元材の利用促進につながる方法を検討する。
-----------	-----------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	公営住宅等ストック総合改善事業（市営住宅（桜が丘）改修事業）
-----	--------------------------------

総事業費	52,590 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な生活環境の整備
	基本事業名	住環境の整備

② 実施 (Do)

事業の意図	西之表市公営住宅等長寿命化計画に基づき、老朽化した市営住宅の個別改善等を行うことで住環境の向上を図り、適切なストックマネジメントの推進を目指す。	
事業の実績と成果	取組内容	・桜が丘団地3号棟の改修工事・監理業務委託の設計書作成及び施工監理 ・桜が丘団地1～3号棟の污水处理施設に係る改修設計業務委託の設計書作成及び監理
	成果	老朽化した桜が丘団地の屋上防水や外壁・給水管設備等の改修工事を行うことにより、躯体の長寿命化および入居者の居住性の向上に繋がった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	入居者がいる中での工事になるため、入居者に事業内容の説明を行い理解が得られるよう努める必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	公営住宅等長寿命化計画に沿って、桜が丘団地の整備を行っており、引き続き事業を進める。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	県営深渡瀬団地との共同浄化槽のため、県と情報共有を図り、入居者の生活に支障が生じないよう安全に留意して工事ができるようにする。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	工事完成写真

事業名	市営住宅解体事業
-----	----------

総事業費	1,992 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な生活環境の整備
	基本事業名	住環境の整備

② 実施 (Do)

事業の意図	老朽化に伴い政策空家になっている危険性のある住宅を解体し周辺環境の向上を図る。	
事業の実績 と 成果	取組内容	住吉団地（木造平屋・3戸）解体工事の設計書作成及び施工監理
	成 果	老朽化していた住吉団地の解体により、周辺環境の改善が図られた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	特になし
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	公営住宅等長寿命化計画に沿ったもので、引き続き事業を進める。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	市営住宅及び教員住宅が隣接しているため、入居者の生活に支障が生じないように安全に留意して工事ができるようにする。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	工事着工前・完成写真（住宅番号：34-10）

事業名	地域情報通信基盤管理運営事業
-----	----------------

総事業費	52,259 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な生活環境の整備
	基本事業名	住環境の整備

② 実施 (Do)

事業の意図		安定的な通信の確保、機器の正常な運用。
事業の実績 と 成果	取組内容	光ブロードバンドの戸別のドロップケーブル新規引込工事、撤去工事、移設工事の受付、発注処理、工事に必要な電柱添架関係申請処理、IRU使用料の請求処理、保守業者への委託料支払い処理、地域イントラネット通信機器の管理運用、10年経過後のIRU契約についての取扱いの協議
	成 果	新型コロナウイルス感染拡大により、大学等の授業のリモート化、テレワーク、ウェブ会議の増加も影響していると考えられるが、契約件数が目標値を大幅に上回る結果となった。大きな通信障害もなく安定的な運用ができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	公設民営方式で整備された光ファイバー網について10年が経過し、国においても維持補修を目的とした補助制度の創設、民間移譲のためのガイドラインの通知がなされている。本市においてもIRU事業者との協議を行い、今後のブロードバンド設備の維持管理について協議するとともに、補助制度を利用した赤字補填に努める。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	安定的な通信の確保、機器の正常な運用のための事業遂行はできている。今後は、維持管理に要する労力や経費を考慮しつつ、民間移設の検討が必要である。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	平成22年に国の施策により市内全域にブロードバンド施設を整備し、10年間が経過した。情報化社会の進展により民間によるインフラの整備などの現状を踏まえながら、適切で利便性の高いサービスを提供を目指し、民間移譲を視野に入れながら、運営管理を行っていく。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明